

札幌学院大学学園広報

編集・発行 札幌学院大学 広報課
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111
<http://www.sgu.ac.jp>



新たな学びの環境 (アクティブラーニング教室)

社会が求める人材を育成するために

「黙って聴く講義」から「主体的に参加する講義」へ

「みなさん、問題の本質はどこにあると考えますか?」、「さあ、自由にアイデアを出し合ってみましょう」、「では、各グループの結論を発表して下さい」……。

教員の問いかけに応じ、学生たちはお互いに意見交換し、グループとしての結論を導き出します。ちょっぴり大変ですが、コミュニケーションや創造的思考、発表力が確実に身につく、楽しい学びの場です。

今年度、二つの教室を刷新しました。写真は、ここでの授業風景です。

新しい教室は、教員と学生の対話を活発にするため、教壇を撤去しました。グループ討議ができるように、自由に動かせる机を導入しました。



自由にアイデアを出し合い、真剣に議論する

最新の視聴覚機器とコンピュータ設備も取り入れました。

そして、ここで展開される豊かな教育活動を大学全体に広げるため、壁をガラス張りにしてオープンにしたのです。



自分の考えをまとめ、相手が理解しやすいように話す



複雑な問題が絡み合い、「正解が無い社会」と言われる現代。自ら課題を発見し、解決策を導き出す意欲と力を備えた人材が求められています。しかし、「黙って聴くだけの講義」ではこのような人材は育成できません。教員と学生が切磋琢磨し、学生の思考力や表現力を引き出し、未知の問題に向き合うような、新たな学びへの転換が求められています。

この教室は、本学が教育の質的転換を図る、その拠点となっています。

2014(平成26)年度 入学式

「考える力、主体性、読解力と表現力の修得を」 鶴丸学長が激励

新入生の門出を祝い晴天に恵まれた4月1日、2014年度入学式が行われ、大学院3研究科22名、4学部8学科587名、合わせて609名が夢と希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

入学式はG館SGUホールを会場に大学院、学部、学科別に4回に分けて行われました。鶴丸俊明学長は式辞の中で、「大学の学びは教養教育を土台とした専門教育からなり、考える力、主体性、読解力と表現力を身につけてほしい」と新入生を激励しました。



資料を使って活動を紹介する学生

入学式第2部のウェルカムアワーでは、研究科長、学部長、学科長からの歓迎の言葉に続いて、バリアフリー委員会、パソコンサポートデスク、図書館ボランティア、学生国際交流委員会、オープンキャンパススタッフ、学生FD組織、高大連携チームなど学生が主体的に取り組む諸活動について、各団体の代表者から資料を使って紹介があり、新入生は先輩達の活動を真剣な眼差しで聞いていました。

式には、新入生の晴れ姿を見ようと多くの家族が訪れ、式の前後に本学の教育施設、図書館、食堂などをご覧頂くことが出来ました。新入生の皆さんがこのキャンパスで、沢山の先輩や教員・職員との触れ合いを通して、大きく成長されることを期待しています。(撮影協力・エムフォトワークス)



式辞を述べる鶴丸学長

ソチオリンピック出場

応援ありがとうございました！



カーリング女子
小笠原 歩 (旧姓小野寺) 選手
Ayumi Ogasawara

2001年人文学部英語英米文学科卒

私はトリノ五輪後から8年もの間、現役から離れていました。正直、ソチ五輪出場は無理だろうと思っていましたが、見事ソチ五輪の切符を掴みました。このチームが世界にどこまで通用するのか不安でしたが、本番ではチームワークが奇跡を生み、過去最高第5位という成績を残すことが出来ました。どの試合もこれぞカーリングという戦いをお見せ出来たと思います。

また、日本選手団旗手として、日の丸と共に選手団の先頭で開会式と閉会式を歩いたことは生涯忘れられぬ感動の一つになりました。皆様の多大なるご声援ありがとうございました。



リージュ男子一人乗り
金山 英勢 選手
Hidenari Kanayama

2014年法学部法律学科卒

上位入賞を目標としてきたので今回の結果はすごく悔しい思いをしています。スタート台に立った瞬間、体が硬くなり、大幅に減速したのが分かるくらい操作が強くなり、結果としてタイムを落とすことになりました。しかし、4本目の滑走ではリラックスし、自分の今持っている力を出せたと思います。

初めてのオリンピックは、普段よりも多くの報道関係者や観客の中で競技をしたので、雰囲気にもれそうになりましたが、後半では慣れることができました。この4年間は多くのことを学ばせてもらいました。今まで経験したことを生かして、これからも精進したいと思います。



女子アイスホッケー (GK)
藤本 那菜 選手
Nana Fujimoto

大学院臨床心理学研究科2年

チーム目標のメダル獲得は、残念ながら出来ませんでした。本当に沢山の方々に応援して頂けて感謝しています。今大会で感じた世界との差を4年後同じ五輪という舞台上で追い越せる様に私自身もっと成長したいと思っています。多くの支えがあり競技を続けることができていますが、何事も周りのサポート無しには成し遂げる事は出来ないと思います。常に感謝の気持ちを持って取り組み、前に進んでいきたいと思っております。今後とも応援の程よろしくお願ひします。



カーリング部が「アルキタ」のCMに出演

株式会社北海道アルバイト情報社のTV-CM「アルキタ × 学生企画 ハルバイト」に、今年はアジアパシフィックジュニア選手権大会などの大会で素晴らしい成績を残した、「カーリング部」が出演しました。このCMは道内の大学・専門学校生が出演しており、本学では昨年アメリカンフットボール部が出演しました。

CM撮影は2月6日(木)、どうぎんカーリングスタジアムで行われました。カーリング部の学生たちも初めてのCM撮影ということもあり、始めは緊張した様子で撮影を行っていましたが、後半には緊張もすこしずつ和らぎ、素敵なCMに仕上がりました。CMムービーについては、アルキタのホームページでもご覧いただけます。<http://haj.jp/arukitacm2014/pc/>





就職 戦線

就職状況 / キャリア教育 / 就職支援



2年連続就職状況が好転 3年生の就職活動スケジュールが大きく変更

2008年秋のリーマンショックによる世界的な景気の悪化に始まり、その後の東日本大震災、欧州による金融不安など、これまで日本企業の業績にダメージを与える問題が次々に発生しました。しかし、アベノミクスにより日本経済は上向き、雇用環境も改善されつつある状況から、2014年3月卒業生の内定率は84.4%となり2年連続で前年を上回りました。また、就職活動中の4年生も昨年よりも早い時期から内定が出ています。しかしながら、企業側は「量」より「質」を優先する「厳選採用」を強めており、早期からの職業観の醸成と就職活動への取り組みが内定獲得に大きく左右される現状です。また、2016年3月卒業生（現3年生）からは、就職活動スケジュールが大きく変更となります。就職活動のスタートは、現4年生よりも3カ月後ろ倒しの3月となり、学生の就職活動は短期決戦が必至とな

ります。このことに対応するため、本学では入学時から卒業後の進路を見据えて目標と目的を持った大学生活を送れるよう、全学的なキャリア教育と就職支援に取り組んでいます。とくに、1年生からキャリア・総合科目「職業と人生Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を開講し、就職活動直前まで切れ目のない計画的なキャリア教育を展開しています。講師には、大学生の就職指導経験が豊富なキャリアアドバイザー4名が学科別にクラスを担当し、学生自らが主体的に自己の進路を選択・決定できる能力や職業観を身に付けることができるよう講義を通じて指導しています。また、就職活動期には、200社を超える企業を招いての「学内合同企業説明会」の開催や、「道外企業受験旅費支援制度」を設け、道外企業を受験する際の旅費の50%を補助するなど、就活生の経済的な負担を軽減するための支援も行っています。

異文化交流

2013年度日本語教育・文化体験プログラム(冬)



1月9日から2月8日にかけて、本学の海外協定大学の学生を対象とする「日本語教育・文化体験プログラム(冬)」が開催されました。今回は韓国から39名の学生が参加しました。

韓国の学生は、平日の午前中はレベル別に日本語授業を受け、午後からは北海道の歴史を学ぶ特別講義を受けたり、日本人学生との交流をはかりました。

ほとんどの学生は日本で1カ月もの間生活するのは初めてで、何かと不安もあったようですが、本学からは約90名の学生がサポートにあたり、韓国の学生1名につき2名~3名がパートナーとして日常生活を支援し、放課後や休日には一緒に出かけるなどして友情を深めました。プログラムでは週末ごとに地域体験学習を行い、小樽・余市・支笏湖・有珠山・旭川での体験学習を楽しみました。サポート学生もこうした地域体験学習に同行し、日常とは違った空気の中でお互いを知ることができたようです。

今回、地域体験学習で層雲峡の「氷瀑まつり」を見学す



る予定でしたが、猛吹雪のため残念ながら断念しました。このように天候により計画通りいかない場合もあるということで、韓国の学生たちは北海道の冬の厳しさを改めて実感したと思います。プログラムの最終日には修了証書授与式が行われ、日本語講師から学生一人ひとりに修了証書が手渡されました。

帰国の日にはサポート学生も多数空港まで駆けつけ、姿が見えなくなるまで帰国する学生たちを見送りました。

兄弟姉妹のように過ごした1カ月は本学学生と韓国の学生にとって、自らの成長を肌で感じ取ることできた時間となったようです。

国を越え、純粋に人間同士の絆を大切にする学生たちから、多くを学んだ1カ月となりました。

2013年度決算ならびに2014年度予算

消費収支計算書

(単位：千円)

	2013年度予算	2013年度決算	差異	2014年度予算
帰属収入				
学生生徒等納付金	3,062,400	3,059,999	2,401	2,710,100
手数料	38,800	34,736	4,064	36,400
寄付金	41,600	41,947	△ 347	41,580
補助金	396,800	346,366	50,434	284,800
(内国庫補助金)	(396,500)	(346,094)	(50,406)	(284,300)
資産運用収入	262,100	266,059	△ 3,959	258,600
資産売却差額	0	1,007	△ 1,007	0
事業収入	11,900	12,646	△ 746	12,200
雑収入	122,600	165,848	△ 43,248	174,100
帰属収入合計	3,936,200	3,928,608	7,592	3,517,780
基本金組入額合計	△ 196,500	△ 164,434	△ 32,066	△ 223,400
消費収入の部 合計(ア)	3,739,700	3,764,174	△ 24,474	3,294,380
消費支出				
人件費	2,507,100	2,510,592	△ 3,492	2,522,600
(内退職給与引当金繰入額)	(68,000)	(110,663)	(△ 42,663)	(134,800)
教育研究経費	1,123,000	1,094,758	28,242	1,253,600
(内減価償却額)	(289,000)	(286,988)	(2,012)	(284,600)
管理経費	303,500	309,260	△ 5,760	313,900
(内減価償却額)	(26,300)	(26,163)	(137)	(25,900)
資産処分差額	25,000	46,018	△ 21,018	45,000
徴収不能引当金繰入額	0	452	△ 452	0
予備費	11,800	0	11,800	10,500
消費支出の部 合計(イ)	3,970,400	3,961,080	9,320	4,145,600
消費収入超過額または消費支出超過額(ア-イ)	△ 230,700	△ 196,906		△ 851,220
基本金取崩額	0	253,854		73,667
翌年度繰越消費収入超過額	1,989,372	2,277,020		1,499,467

2014年5月28日に開催された第202回理事会において学校法人札幌学院大学の2013(平成25)年度決算並びに2014(平成26)年度補正予算が承認されました。

[2013年度決算の概要] (金額は10万円未満を四捨五入しています)
2013年度帰属収入の決算額は予算額に対して760万円減、基本金組入額は予算額に対して3,210万円減となり消費収入では2,450万円の減少となりました。一方、消費支出の決算額は予算額に対して940万円の減少となりました。その結果、当年度消費支出超過額は予算額で2億3,070万円と見込まれていましたが、決算額では若干改善され1億9,690万円の支出超過となりました。

〔消費収支計算書〕
学生生徒納付金収入は、予算の時点で試算した在学生数が予想より減少したため240万円収入減となりました。寄付金収入は、学生父母や卒業生の皆様を中心にいただいた一般寄付をはじめ、機器備品・図書等の現物寄贈、特別寄付を含め4,190万円にのぼる寄付をいただきました。補助金収入は、文部科学省「私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金」などに申請を行い、1,780万円の収入が増えたものの、経常費補助金を含む補助金全体では予算額を5,040万円下回りました。資産運用収入は2億6,600万円ですが、資産運用規程に基づき適正かつ安全で効率的な運用に心がけ、国債や地方債などの債券や定期預金を中心とした運用を行いました。なお、今年度もリスクが高い仕組み債や外貨建て債券、株式投資やデリバティブ取引は一切行っておりません。雑収入は、退職金財団交付金が4,570万円増えたため、雑収入全体では予算より4,320万円の収入増となりました。それら収入の結果、帰属収入で760万円の収入減となったものの、基本金組入額が2,210万円減少したため、消費収入の部では予算額より2,450万円収入増となりました。

人件費は、年度途中の退職者が増えた結果、退職給与引当金繰入額が予算額より4,270万円の支出増となったため、人件費全体では350万円の支出増となりました。教育・管理経費は、執行段階でさらなる経費削減を実行した結果、予算額に対して2,250万円の支出減となりました。資産処分差額は、図書の除籍作業が当初計画を上回って処理が進んだことから2,100万円の支出増となりました。それら支出の結果、消費支出の部は940万円の支出減となり当年度消費支出超過額は、1億9,690万円となりました。

〔資金収支計算書〕
前受金収入は、予算時に見積もった新入生数よりも減少したため、7,950万円の減となりました。その他の収入は「支出の部」の資産運用支出との関係から、保有する国債等の債券が満期を迎えた分を購入し直したことによる収入と支出の差であります。その結果、次年度繰越支払資金は13億2,170万円となり予算額より3億6,410万円減少しました。

〔貸借対照表〕
固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金・未収入金他)の資産の部合計は、前年度末と比べて1億8,930万円の減少、固定負債(退職給与引当金他)と流動負債(前受金・未払金他)の負債の部合計は、前年度末と比べて1億5,690万円の減少でした。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は、286億6,400万円で、前年度より3,240万円減少しました。

資金収支計算書

(単位：千円)

	2013年度予算	2013年度決算	差異	2014年度予算
収入の部				
学生生徒等納付金収入	3,062,400	3,059,999	2,401	2,710,100
手数料収入	38,800	34,736	4,064	36,400
寄付金収入	37,100	39,073	△ 1,973	37,600
補助金収入	396,800	346,366	50,434	284,800
資産運用収入	262,100	266,059	△ 3,959	258,600
資産売却収入	0	1,007	△ 1,007	0
事業収入	11,900	12,646	△ 746	12,200
雑収入	122,600	165,848	△ 43,248	174,100
前受金収入	444,800	365,304	79,496	375,300
その他の収入	2,301,862	4,069,049	△ 1,767,187	3,045,500
資金収入調整勘定	△ 578,818	△ 641,976	63,158	△ 465,304
前年度繰越支払資金	1,642,903	1,642,903	0	1,321,721
収入の部合計	7,742,447	9,361,014	△ 1,618,567	7,791,017
支出の部				
人件費支出	2,521,600	2,526,409	△ 4,809	2,525,900
教育研究経費支出	834,000	807,770	26,230	969,000
管理経費支出	277,200	283,097	△ 5,897	288,000
施設関係支出	3,900	31,213	△ 27,313	53,000
設備関係支出	101,300	109,278	△ 7,978	85,100
資産運用支出	2,302,000	4,255,623	△ 1,953,623	2,841,300
その他の支出	65,200	90,642	△ 25,442	68,200
予備費	11,800	0	11,800	10,500
資金支出調整勘定	△ 60,400	△ 64,739	4,339	△ 73,100
次年度繰越支払資金	1,685,847	1,321,721	364,126	1,023,117
支出の部合計	7,742,447	9,361,014	△ 1,618,567	7,791,017

貸借対照表

(単位：千円)

	本年度末		増減
	2014年3月31日	2013年3月31日	
資産の部			
固定資産	28,831,950	28,728,059	103,891
有形固定資産	11,134,695	11,350,454	△ 215,759
その他の固定資産	17,697,255	17,377,605	319,650
流動資産	1,509,747	1,802,946	△ 293,199
資産の部合計	30,341,697	30,531,005	△ 189,308
負債の部			
固定負債	1,191,524	1,207,341	△ 15,817
流動負債	486,149	627,168	△ 141,019
小計	1,677,673	1,834,509	△ 156,836
基本金及び消費収支差額の部			
基本金	26,387,004	26,476,424	△ 89,420
消費収支差額	2,277,020	2,220,072	56,948
小計	28,664,024	28,696,496	△ 32,472
負債の部・基本金及び消費収支差額の部合計	30,341,697	30,531,005	△ 189,308

〔2014年度予算の概要〕
帰属収入は、前年度予算より4億1,840万円減の35億1,780万円を計上し、そこから奨学基金等に組み入れる基本金2億2,340万円を差し引いた消費収入合計は32億9,440万円となる見込みです。また、消費支出合計は41億4,560万円となる見込みで、当年度の消費支出超過額は8億5,120万円となる見込みです。

- ◎主な重点政策事項
- 教育改革と大学再編
 - 入試、学生支援等の充実
 - 経営(財政)基盤の確立
 - ① 財務関係諸比率の全国平均値を目指す
 - ② 単年度収支均衡を引き続き追及する
 - ③ 収支構造の見直しと合理的予算措置
 - キャンパス整備計画の推進
 - 公的教育機関としての社会的責任と社会貢献
 - 積極的な広報活動の展開

教育振興寄付金 インターネットからの教育振興寄付金の募集について

4月14日から新たにインターネットからの教育振興寄付金の募集を開始いたしました。札幌学院大学のホームページから寄付受付画面(F-REGI 寄付支払い)にパソコン・携帯電話・スマートフォンなどからアクセスしていただき、時間や場所を問わずクレジットカード(Visa, MasterCard, JCB など)を利用して寄付の手続きを行うことができます。また、通常のクレジットカード利用と同様に、各クレジットカード会社が提供するポイントも付与されます。その他、コンビニエンスストアや銀行決済(Pay-easy)からも寄付の手続きを行うことができ、多くの皆さまから広く継続的なご支援をいただけるようにさせていただきます。ご寄付につきましては、これまでと同様に学生の修学支援を第一に、教育研究活動の充実や施設・設備の充実、諸活動の推進を図るために使用させていただきます。

できます。また、ご寄付に際して本学へのメッセージもいただいております。詳しくは、「札幌学院大学 寄付金」で検索してください。

札幌学院大学 寄付金

■教育振興寄付金のご協力に深く感謝いたします
(平成26年1月25日から平成26年3月31日までの報告) 敬称略・順不同

◆ 佐藤 達哉様 ◆ 渡辺 利夫様

◆ 新理事会が発足 理事長に井上俊彌氏



5月28日開催の第202回理事会、第124回評議員会で任期満了による役員及び評議員の改選が行われました。

また、第203回理事会において、任期満了の藤田恒一郎理事長の後任として井上俊彌氏が理事長に選任され、菅原秀二氏と小柴寛芳氏が常務理事に再任されました。

井上新理事長は、本学の前身である札幌短期大学の卒業生。平成10年に理事に就任され、この間、同窓会長・後援会長などを歴任されました。

■理事長

井上 俊彌 (株)HPI 代表取締役会長

■理事

鶴丸 俊明 学長
安孫子建雄 江別製粉(株)代表取締役社長
佐藤 政隆 (株)ドン・リース&レンタル代表取締役社長、本学同窓会長
加勢 清光 税理士法人加勢総合事務所代表社員・公認会計士
白髪 良一 日本清酒(株)代表取締役会長
臼杵 勲 人文学部教授
神谷 章生 法学部教授
石井 和平 社会情報学部教授
松田 昇一 総務部総務課長
山本 勝 学生課長

■常務理事

菅原 秀二 人文学部教授

小柴 寛芳 事務局長

■監事

五ノ井 學 五ノ井学税理士事務所所長

廣川 和市 本学名誉教授

任期は平成26年5月31日から平成29年5月30日までの3年間です。

今期の改選で、理事では、藤田恒一郎氏、青木雅典氏、池上公介氏、星野恭亮氏、太田清澄氏、高木清氏、山田智哉氏、甲斐陽輔氏が退任されました。また、教職員を除く評議員では、木原キヨ子氏、川島幹雄氏、新田博氏が退任され、新たに、石原正博氏、小泉昌弘氏、依田忠敏氏が選任されました。

長年、大学発展のためにご尽力いただきました理事・評議員の皆様に深く感謝申し上げます。

◆ 後援会春季役員会 新会長に加勢清光氏

6月7日、後援会の春季役員会が開催されました。

会議に先立ち、新役員(2年生保護者)の皆様には大学の主要な施設を見学するキャンパスツアーにご参加いただきました。

会議は、新評議員の委嘱報告に続き、①理事の選任②平成25年度事業報告及び決算③平成26年度事業計画及び予算④監事の辞任に伴う後任⑤会長の辞任に伴う後任について審議され、原案どおり承認されました。これにより、平成21年5月から5年間、後援会長としてご尽力された井上俊彌氏の後任に加勢清光氏が選任され、加勢監事の後任には鈴木英弘氏が選任されました。

会議終了後の昼食会では、新旧会長のご挨拶後、保護者役員の皆様と大学関係者との懇談が和やかに行われ、最後に鶴丸学長から、後援会の援助に対するお礼と今後の抱負が述べられ閉会しました。



教職員人事

■任命(平成26年4月1日付)

地域社会マネジメント研究科長 平澤 亨輔
臨床心理学研究科長 葛西 俊治
法学部長 清水 敏行
人文学部長 岡崎 清
社会情報学部長 小内 純子
就職部長 河西 邦人
経営学部経営学科長 兼 経営学部教務委員長 杉本 修
法学部法律学科長 家田 愛子
人文学部人間科学科長 松川 敏道
人文学部英語英米文学科長 山添 秀剛
人文学部臨床心理学科長 村澤和多里
社会情報学部社会情報学科長 兼 社会情報学部教務委員長 高田 洋
法学部教務委員長 岡田久美子
人文学部教務委員長 内田 司
心理臨床センター長 井手 正吾
国際交流委員長 白石 英才

■昇任(平成26年4月1日付)

教授 加藤 美穂子
教授 二通 諭
教授 ヒンクルマン D.W.
准教授 佐々木 達

■所属学部・学科変更(平成26年4月1日付)

北林 雅志(経営学部経営学科教授)
吉川 哲生(経営学部経営学科准教授)
北田 雅子(人文学部こども発達学科教授)

■採用(平成26年4月1日付)

坂口 勝幸(経営学部会計ファイナンス学科准教授)
大塚 宣明(人文学部人間科学科講師)
小出 保廣(人文学部臨床心理学科教授)
伊藤 克実(人文学部こども発達学科教授)
寺岡真知子(人文学部こども発達学科教授)
渡邊 憲介(人文学部こども発達学科教授)
清水川直子(総合政策部広報課)

宇佐美慎一(教務部教務課)
北 愛弓(教務部教務課)
渋川 亜以(教務部教務課)
渡邊 大翔(管財課)

■退職(平成26年3月31日付)

坂下 紀彦(経営学部会計ファイナンス学科教授)
小島 廣光(経営学部経営学科教授)
光武 幸(経営学部経営学科教授)
三木 敏夫(経済学部経済学科教授)
金山 剛(法学部法律学科教授)
山下 慎一(法学部法律学科講師)
山越 康裕(人文学部人間科学科准教授)
田形 修一(人文学部臨床心理学科教授)
松浦 啓子(人文学部臨床心理学科講師)
イデ R.D.(社会情報学部社会情報学科講師)
渡辺 利夫(教務部教務課)
川口 繁光(教務部教務課)
相蘇 耕平(総合政策部広報課)

■採用教員



坂口 勝幸 大塚 宣明 小出 保廣 伊藤 克実 寺岡真知子 渡邊 憲介

■採用職員



清水川直子 宇佐美慎一 北 愛弓 渋川 亜以 渡邊 大翔

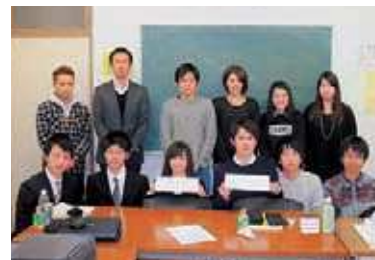
わたしたちの●ゼミ紹介します！
Seminar
 @SGU vol.18

専門(2年)・応用(3年)ゼミナール

経営学部 会計ファイナンス学科 教授 三好 元



企業調査(専門ゼミ)



日本学生経済ゼミナール大会(応用ゼミ)

ゼミナールの活動テーマ

専門ゼミ(2年生)の活動テーマは、江別の特徴ある中小企業の調査と『江別ビジネス』の発行。応用ゼミ(3年生)は、東京の信用金庫および信用組合の調査と日本学生経済ゼミナール大会への参加です。

ゼミナールの活動内容(2013年度)

専門ゼミでは、自動車部品販売業の(株)スーパーライン北翔を取り上げ、その経営の特長と課題や、経営者の生き方が会社経営にどのように影響したのかに留意して調査を行いました(6月)。この調査・分析結果を『江別ビジネス』(A3判・2ページ)にまとめ、江別市の4,000世帯に配布をしました(翌年2月)。企業調査から発行までの活動を通じて、学生がチームワークや問題発見・解決能力を養い、就職意識や仕事観の向上につながることを期待しました。学生たちが粘り強く『江別ビジネス』

と格闘しながら発行に至ったことは大いに評価したいと思います。『江別ビジネス』の発行は、これからも続け、内容の改善、発行部数の拡大に努めたいと思っています。

応用ゼミでは、信用組合の生き残りの方向を検討するために、東京の板橋区にある全東栄信用組合と神奈川県横浜市にある女性・市民コミュニティバンク(金融NPO)を調査しました。全東栄信用組合は中小企業の組織化を通じて中小企業の資金の創出を行い、女性・市民コミュニティバンクは女性の起業に特化した金融支援活動を行っています(女性・市民は、信用組合の結成を目指しています)。学生は、信用組合の生き残りの方向は、中小企業の組織化とソーシャルファイナンスの促進であるとし、この分析結果を12月の日本学生経済ゼミナール大会で報告・討論しました。東北学院大学の学生さんと本当にすばらしい討論をしました。これらの経験は、彼らの「財産」となることでしょう。学生諸君、がんばれ!!

「卒業生このひと」

札幌グランドホテル勤務
 澤田 詩織さん

(2013年3月人文学部英語英米文学科卒業)



イングリッシュキャンプ(右端 澤田さん)

2013年3月に英語英米文学科を卒業された澤田詩織さん。現在、札幌グランドホテルで勤務されています。

在学中の思い出や現在の職に就かれた経緯、学生時代に経験したことなどをお聞きました。

1. ホテルの仕事に就こうと思ったきっかけを教えてください。また、現在のお仕事の内容を教えてください。

好きな英語を学べる学科に入ったなら、仕事も英語を活かせる所に就職したいとずっと思っていました。

また、現在の職場である札幌グランドホテル宴会サービスのアルバイト経験と英語を活かせるホテルの仕事に就こうと思えました。

現在は、レストラン部門に所属して、朝は宿泊のお客様の朝食サービス、昼は主にバイキング、夜はコース料理のホールスタッフとして料理・ドリンクのサービスなどが主な仕事です。

2. 卒業して1年が経ちましたが、実際にホテルの仕事をしてみて、自分自身、何か変化

はありましたか?

ちゃんと伝わらないかもしれないけど伝えようという努力をする。

相手の意見や言いたいことを、よく聞くようになったと思います。

また、今更ながら札幌の街中に何があるのかよく調べるようになりました。(笑)

3. 英語英米文学科に入学して良かったこと、在学中の印象に残っている思い出をお聞かせください。

良かったことは、好きな英語を活かせる仕事に就けたこと、素敵な仲間や先生たちに出会えたことです。

特にゼミの仲間、先生に出会えて本当に良かったと思います。

ゼミではみんながお菓子を持ってきて分けあったり、先生の研究室で勉強したり、お喋りしたり、楽しい時間でした。

4. 最後に後輩たちにメッセージをどうぞ。ただ決められた講義を学ぶだけでなく

幅広く色々学べるのが大学だと思いません。好きなことを学ぶ・やりたいことをやれるチャンスを逃さず、有意義な学生生活を送ってください。



新入社員研修(前列中央 澤田さん)

**エクステンションセンター
 前期講座がスタート**

エクステンションセンターでは、正課の授業で取得できる資格とは別に、就職に役立つ資格・スキルを身につけることを目的に資格講座を開設しています。今年度も行政書士、FP2級、国内・総合旅行業務取扱管理者、宅地建物取引主任者、医療事務、法学検定、パソコン(MOS)、簿記、保育士講座などの資格講座と公務員志望者を対象とした公務員講座を開講しています。学内で受講できることから毎年多くの学生が受講し、資格を取得しています。後期の講座については、エクステンションセンターへ問合せください。



保護者懇談会のご案内

保護者懇談会は、大学と保護者が協力して学生の学びと成長を支えていこうという目的で1974年から開催され、今年で40年目を迎えます。

本学の教育と最近の就職状況についてご説明申し上げるとともに、学生一人ひとりの修学状況を十分に踏まえた上で、学部担当教員よりお子様の修学状況(単位修得・成績等)をお話させていただきます。

今年度は以下のとおり開催を予定しています。

開催地	開催日	受付	懇談会	会場
帯広	8月30日(土)	12:00	12:30~15:00	とがち館
釧路	8月31日(日)	10:30	11:00~13:30	釧路プリンスホテル
青森	9月6日(土)	9:30	10:00~12:30	ホテル青森
函館	9月7日(日)	9:30	10:00~12:30	ホテル法華クラブ函館
本学	11月1日(土)	9:30	10:00~15:00	札幌学院大学

※本学会場では、13時よりキャリア支援課主催の「保護者向け就職活動勉強会」を開催します



昨年の全体会の様子(本学)

2014 オープンキャンパス (参加自由・予約不要)

第1回	6月21日(土)	11:00~16:00
第2回	7月27日(日)	11:00~16:00
第3回	9月23日(火・祝)	11:00~16:00
第4回	11月15日(土)	13:00~16:00
第5回	3月21日(土・祝)	11:00~15:00

★無料送迎バス運行

- 札幌駅、新さっぽろ駅から大学への無料送迎バス【予約不要】
- 道内主要都市からの無料送迎バス(全9ルート)【要予約】

上川方面	【名寄】—【士別】—【旭川】—大学
空知方面	【留萌】—【深川】—【滝川】—【岩見沢】—大学
後志方面	【岩内】—【倶知安】—【小樽】—【手稲】—大学
日高方面	【浦河】—【静内】—【富川】—【苫小牧】—【千歳】—大学
胆振方面	【伊達】—【東室蘭】—【恵庭】—大学
十勝方面	【帯広】—【西帯広】—【芽室】—【十勝清水】—大学
渡島方面	【函館】—【森】—【八雲】—大学
北見方面	【北見】—【遠軽】—大学
釧路方面	【釧路】—【白糠】—大学

2014 ミニオープンキャンパス (予約制)

8月23日(土)	旭川市	ロワジュールホテル旭川	12:00~15:00
8月24日(日)	北見市	ビツアークホテル	10:30~13:30
8月30日(土)	帯広市	とがち館	12:30~15:30
8月31日(日)	釧路市	釧路プリンスホテル	11:00~14:00
9月6日(土)	青森市	ホテル青森	10:00~13:00
9月7日(日)	函館市	ホテル法華クラブ函館	10:00~13:00

★無料送迎バス運行【要予約】

8/23(土)	旭川コース	【稚内】—【音威子府】—【美深】—【名寄】—【士別】—旭川会場
8/24(日)	北見コース	【道の駅「オホーツク紋別」】—【湧別高校】—【遠軽】—北見会場
8/30(土)	十勝広尾コース	【広尾高校】—【大樹高校】—【幕別】—【札内】—帯広会場
	十勝足寄コース	【足寄高校】—【上士幌高校】—【鹿追高校】—【芽室】—【西帯広】—帯広会場
8/31(日)	釧路コース	【羅臼高校】—【中標津高校】—【別海高校】—【厚床】—【厚岸】—釧路会場
9/6(土)	津軽コース	【弘前】—【五所川原】—青森会場
	八戸コース	【八戸】—【三沢】—【十和田市】—【野辺地】—【青森東高校】—青森会場
	秋田コース	【秋田】—【能代】—【大館】—青森会場
9/7(日)	函館コース	【道の駅「北前船松前」】—【知内】—【木古内】—【上磯】—函館会場

ガクインにハイローコーポラー

ご予約は **0120-816-555** (入試課フリーダイヤル) まで

ガクイン生リアルストーリー番組 GREEN CAMPUS /



ガクイン生が主役のテレビ番組「GREEN CAMPUS / ~未来へStep up~」を6月2日(月)から毎週月曜日(全13回)、UHB 北海道文化放送で全道各地に放送しています。番組では将来の目標に向かって日々努力を続けている学生やクラブ・サークル活動で活躍している学生達のキャンパスライフを紹介しています。ひたむきに頑張っているガクイン生の姿を是非ご覧ください。

- 放送スケジュール ——— 6月2日(月)~8月25日(月)毎週月曜日(全13回)
- 放送時間 ——— 21:54~22:00(放送時間は変更になる場合があります)
- 放送局 ——— UHB 北海道文化放送

※昨年放送された番組(GREEN LIFE / BLUE DAY)は、大学のホームページでご覧いただけます。

札幌学院大学 テレビ番組

検索

公開講座 — 大学の知的財産を社会へ発信 —

経済学部公開講座(第7回)

〈科目名: 経済学特別講義 A〉

日本経済と北海道

— 日本の財政・金融・産業の視点 —

開催日時 9月26日(金)~1月23日(金)
3講時 13時10分から14時40分まで

開催場所 札幌学院大学 B202 教室

問合せ先 教務課 経済学部 係

その他 ①「道民カレッジ」の連携講座
②「えべつ市民カレッジ」との共催

人文学部公開講座(第35回)

〈科目名: 人間論特殊講義〉

『保育の質』とは何か

開催日時 8月18日(月)~8月22日(金)(5日間連続)
18日(月) 1~4講時 9時10分から16時20分まで
19日(火)~21日(木) 2~4講時
10時50分から16時20分まで
22日(金) 1~2講時 9時10分から12時20分まで
(12時20分から13時10分は昼休み)

開催場所 札幌学院大学 D201 教室

問合せ先 教務課 人文学部 係

その他 ①「道民カレッジ」の連携講座
②「えべつ市民カレッジ」との共催

法学部公開講座(第25回)

〈科目名: 法政総合講座 C〉

『企業の成長と持続の条件』

— 企業統治、人権、社会的責任 —

開催日時 9月24日(水)~1月21日(水)
3講時 13時10分から14時40分まで

開催場所 札幌学院大学 D202 教室

問合せ先 教務課 法学部 係

その他 ①「道民カレッジ」の連携講座
②「えべつ市民カレッジ」との共催

Community College

コミュニティカレッジ講座のご案内

社会連携センター(札幌市中央区大通西6)では、市民のための講座「コミュニティ・カレッジ」を開講して今年で15年目を迎えます。この間、延べ2万2千名の皆さまに受講いただき、大変好評を得ています。社会貢献は、教育、研究に続く第三の使命として、本学では早くから生涯学習に取り組み、札幌に拠点を設け大学開放の一環としてコミュニティ・カレッジを開講・運営して参りました。

2014年度の前期講座では、一般講座11講座、市民セミナー5講座、英会話講座5講座、ハンゲル講座3講座を開講しています。受講生約1,000名が教養講座や専門講座、語学講座など様々な講座で熱心に学んでいます。

後期の講座は10月開講になります。詳しくは、8月下旬に後期講座向けに更新される社会連携センターのホームページをご覧ください。

札幌学院大学 社会連携センター



学術講演会のお知らせ

■日時: 9月19日(金) 18:30~20:30

■会場: 置戸町中央公民館
(北海道常呂郡置戸町置戸 245-1)

■講演: 『過去を掘る—考古学の面白い話—』
学長 鶴丸 俊明

■音楽: 『大平まゆみロマンティッククラシックス』
ヴァイオリン大平まゆみ(札幌交響楽団コンサートマスター)/ピアノ明上山貴代

曲目 クライスラー: 美しきロスマリン、中国の太鼓
ブラームス: ソナタ第1番「雨の歌」より

第1楽章

ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ他

■入場無料

■問合せ先: 総合政策部広報課
(曲目は当日変更となる場合があります)

2015(平成27)年度 札幌学院大学 入学試験日程

	学部学科	出願期間	試験日	試験場
推薦入試	人文学部 人英論、英語、臨床心理学	11月3日(月)~郵送11月11日(火)消印有効 持参11月12日(水)17時	11月29日(土)	本学・青森
	法学部 法経学、経営学		11月30日(日)	
	法学部 法経学、経営学		12月1日(月)~郵送12月5日(金)消印有効 持参12月8日(月)17時	12月13日(土)
自己推薦B	法学部 法経学、経営学	2月20日(金)~郵送3月2日(月)消印有効 持参3月3日(火)17時	3月10日(火)	本学・旭川・青森
	人文学部 人英論、英語、臨床心理学		1月13日(火)~郵送1月27日(火)消印有効 持参1月28日(水)17時	1日目:2月6日(金) 2日目:2月7日(土)
公募制指定スポーツB・公募制課外活動B・自己推薦C(法律・会計・経営のみ)	法学部 法経学、経営学	1月13日(火)~郵送2月4日(水)消印有効 持参2月5日(木)17時	3月10日(火)	本学・旭川・青森
	人文学部 人英論、英語、臨床心理学		2月20日(金)~郵送3月9日(月)消印有効 持参3月10日(火)17時	本学独自の 試験は課さない
一般入試	全学部全学科	3月9日(月)~郵送3月18日(水)消印有効 持参3月19日(木)17時		
		2月20日(金)~郵送3月9日(月)消印有効 持参3月10日(火)17時		
		1月13日(火)~郵送2月4日(水)消印有効 持参2月5日(木)17時		
センター利用入試	全学部全学科	2月20日(金)~郵送3月9日(月)消印有効 持参3月10日(火)17時		
A日程				
B日程				

※ AO入試の日程は、ホームページをご覧ください。

2015(平成27)年度 大学院一期入学試験日程

出願期間	9月5日(金)~9月19日(金) [必着]
試験日	10月4日(土) 法学研究科(一般・社会人)、臨床心理学研究科(一般筆記・社会人) 10月5日(日) 臨床心理学研究科(一般面接)、地域社会マネジメント研究科(一般・社会人)
合格発表日	10月17日(金) 10:00 ※本学及び社会連携センターにて掲示
入学資格審査出願期間	6月26日(木)~7月2日(水) [必着]
入学資格審査口述試験	7月5日(土) 13:00



公式フェイスブックページの運用を開始いたしました。大学の諸活動をホームページと連動して情報発信していますので、どうぞご覧ください。